

令和6年度（2024年度）第2回北区まちづくり懇話会 会議録

【日時】 令和6年（2024年）10月30日（水）午後2時～午後3時半

【場所】 北区役所2階第2～4会議室

【出席委員】 丸山 泰、荒木 善光、浅井 賢一、高智穂 さくら、徳永 親、
戸野口 庄子、中島 利勝、東 信義、堀 史、宮村 聡、
山崎 雄三 以上11名（敬称略）

【傍聴者】 なし

【会議次第】

- 1 開会
- 2 委員紹介（前回欠席者のみ）
- 3 会長挨拶
- 4 説明事項および意見交換
 - (1) 地域カルテについて（進捗報告）
 - (2) 令和7年度まちづくり推進経費について
- 5 閉会

1 開会

2 委員紹介（前回欠席者：浅井委員）

皆さんこんにちは。

スポーツ推進委員をしています。

今年から農業委員の仕事を承っており、そちらの会議と重なり前回は欠席となりました。これからよろしくお願いします。

3 会長挨拶

進行してまいります。よろしくお願いします。

地域カルテの進捗報告について事務局から説明をお願いします。

4 説明および審議事項

(1) 地域カルテについて（進捗報告）

（事務局）

資料1の地域カルテについてページ毎に説明

（丸山会長）

ただいま事務局からの説明で、内容に関する質問、あるいはカルテ全体に対する要望などがあればどうぞ。

（堀委員）

地域カルテとても面白く興味深く拝見した。

作業お疲れ様でした。多くの人に知ってほしいと思う。地域にいただけるということだが、どのくらいいただけるのか。

（事務局）

自治会への配布はもちろん、要望に応じて対応する。また、ホームページにも掲載するので、適宜ご使用いただきたい。

（東委員）

田原坂のPRが足りないと感じる。

資料館の入館者数が非常に少ない。何か原因があるのだろうか。

（事務局）

近年の入館者の減少は、コロナの影響があるものと思うが、田原坂のPRに

については、観光政策課とも連携しながら周知を行っていきたい。また、令和9年には西南戦争から150年でもあるため、何らかのイベントができないか田原坂顕彰会を中心に検討されるものと思っている。

(丸山会長)

田原坂資料館の維持にあたって、入館者数等歴代のデータはあるか。

(事務局)

詳細な数字に関しては把握していないが、黒字にはなりにくい状況だという印象。

(戸野口委員)

自治会加入率が低いように感じる。加入は強制ではないと思うが、自由になると加入しなくなる。子ども会も同様。どうにかならないものか。

福岡では、自治会加入促進に向けて様々な場所に自治会の案内が掲示してある。加入者が増えるよう工夫をお願いしたい。

(事務局)

自治会加入率の低下については、大きな課題と捉えている。北区まちづくり推進経費では、子育て世代へ自治会について説明し地域活動へ参加するよう促す取り組みや、小中学校へ行き「自治会とは」の授業をしている。また、自治会ハンドブックを作成する等市全体として引き続き対応をおこなっていく。

(丸山会長)

南区の自治会加入率は高いが、どんなことに取り組んでいるのか。

(事務局)

城南町や富合町の合併もある。どんなことをやっているのか確認したい。

(高智穂委員)

地域カルテの活用方法はあるのか。

(事務局)

地域の方に現状を知ってもらい地域で考えていただくきっかけにしたい。今後8年のまちづくり方針の中で傾向をとらえながら、北区としてもまちづくりの事業に繋げていきたい。

(高智穂委員)

自治会長は毎年変わっていくので、興味を持たれずに終わらないといいなと思う。高齢化率が高いことをネガティブに捉えるのではなく、高齢化率が高いからこういうことをしてはどうか等、次に繋がる提案も併せてできたら良いと思う。

(吉住区長)

まちづくりセンター毎に自治会へ丁寧な対応を行い、地域についてもっと研究し、各校区での事業に繋げていきたい。

(徳永委員)

この地域カルテの解禁日はいつを予定しているか。

(事務局)

年度内の完成を目指しており、完成次第公表を予定している。

(徳永委員)

空き家については改善していると思っていいのか、交通事故の件数は高平台校区の件数が多いのはどうしてなのか気になる。空白部分に背景を掲載してはどうか。

(吉住区長)

空き家については、空家対策課から危険な空き家については解体を促すような啓発活動を行った結果件数が減っているもの。交通事故件数に関しては、北合志警察署へ聞いてみようと思う。

(中島委員)

分かる部分については、なぜそういうデータになっているのかコメントを載せてほしい。課題解決にあたっては、地域住民が主体となって動くのは当然なのだが、学識者である大学の先生や学生と協力して改善に繋げていけたら良いと思う。

また、道の駅はとても発展している。保護司会で道の駅をイベント等でよく利用するが、物産を売るだけでなく様々なイベント等をされているイメージがあるため、活用状況などを知りたい。

(松永農業振興課長)

農家の物産や地域の方とのコミュニケーションにも寄与していると思う。事業については道の駅で運営されているが、管理者の方とも協力していきたい。

(吉住区長)

崇城大学や保健科学大学とも提携をしている。麻生田校区では、空き家対策について崇城大学の学生と自治会及び民生委員と一緒に取り組んでいるところ。今後、植木温泉の魅力をどう発信していくか、崇城大の学生と研究をしているところ。また、保健科学大学とも北区のイベントの際、学生と地域活動に取り組んでいる。

今後も学生と連携を深めていきたい。

(丸山会長)

道の駅については、ランドマークでもあるため、利用者数など植木温泉の宿泊者数と同じようなレベルで数字を可能な限り出してほしい。

地域カルテを見て「なぜだろう」が出てくると思うが、実はこれが一番の狙いであり、すぐに答えは出ないと思うが、まず、第一稿を出して関心度合もはかりながら、より良いものにしていければ良いと思う。

(宮村委員)

地域カルテ3ページに「まちづくり方針」と「地域カルテ」の連動とあるが、どの項目がどの数字になったら項目達成という指標はあるのか。

(事務局)

地域カルテの項目で年次目標は特に定めていないが、変化を捉えて検証をしながら、こういう事業をしていこうという行動のきっかけや比較になるものにしていきたいと思っている。

(宮村委員)

現状を知って行動のきっかけにはなると思うが、期待した形で目標設定の資料に使われるのであれば、ゴール設定は必要だと思う。どうなるために何に予算をかけるのかという話にもなると思う。どうなったら重点目標の達成になるのか次年度以降決めていくと、より効果的な地域カルテになるのではないかと思う。

(丸山会長)

8年間の計画の中で、中間にあたる4年後あたりでそれぞれのテーマごとに数字を見て、その後の4年間でPDCAサイクルを回す癖をつけていければ良いと思う。

(高智穂委員)

自治会だけでなく、市民の皆さんが地域カルテを見て自分事として捉えられるものにするために、ひとくちメモとして「消防団とは」とか「119番通報する際には落ち着いて応えましょう」などがあると良いと思う。

作るだけで終わらず、使えるものにしていただきたい。

(徳永委員)

見出しを「老人会加入者数」➡「10年前に比べて老人会加入者数減少」のようにグラフを見なくても分かるぐらいの見出しのつけ方にすると画期的だと思う。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。初年度のため、委員各位からいただいた意見を参考に、ブラッシュアップを重ねていきたい。

(丸山会長)

紙での配布やホームページでの掲載など、少しでも多くの市民の目に触れられるようなアウトプットをしてほしい。

(荒木副会長)

どう共有して解決していくかが重要。地域担当職員を介してどういう形で伝えるのかも重要だと思う。

区長が地域に入っている中で、ぜひこの資料を様々な対象者とワークショップ形式で、中間評価までの4年間のうち、いろんな意見を積み上げながら、行政主導と一緒に解決していくその姿勢が重要かと感じた。

目標設定と併せて、どうPDCAをまわしていくか、評価についても考えていけないといけないと思う。

(山崎委員)

資料によって年度設定のバラつきがあり、比較がしづらいように感じる。可能ならば、年度を合わせることができれば比較がしやすくなって良いと思う。

(事務局)

統一できるものはしていきたい。

(浅井委員)

様々なスポーツ大会を実施しており、政令市になって10周年を迎えた。他区と比較するとスポーツに関しては進んでいると感じる。しかし、他行事と重複するなどチーム数は年々少なくなっている。

参加者を増やすため、協議内容を変更したり年齢問わず参加できるもの(モルック等)を取り入れたりしている。

(丸山会長)

過去の参加人数等が分かれば、逆に提供していただくと良いかもしれない。

(浅井委員)

過去10年のデータはあるので提供したい。

(2) 令和7年度まちづくり推進経費について

(事務局)

資料2の令和7年度北区まちづくり推進経費について説明

(徳永委員)

地域コミュニティづくり支援補助金について、100万円減額となっている理由はあるのか。また、「文化振興」の事業費については市全体の予算額ということではよろしいか。北区の予算はどれくらいあるのか伺いたい。

(事務局)

地域コミュニティづくり支援補助金の減額については、近年申請いただく件数は増えているものの、防災放送設備で備品購入費のみの申請が増加し、本来の趣旨と相違してきている。その分を除いた金額となり、地域の皆様への影響はないものと思われ減額をしたもの。

また、文化振興の予算額については、この予算の中には、各区に文化協会ができており各区へ約100万円の補助金が入っている。

(丸山会長)

令和8年度の予算編成に向けてのお願い。現状は各課からの要求でボトムアップ型になるが、地域カルテができるので区役所職員の皆さんにも地域カ

ルテを活用していただきたい。例えば、この地域カルテを作成した総務企画課あるいは北区長を加えるといいと思うが、トップダウンで区全体を見た中で、課題があるところや5年後10年後課題が出てきそうなことと併せて予算を組み立てると良いと思うし、マクロな視点からの課題発見も入れると予算編成により厚みが増すと思う。

(宮村委員)

事業毎の概要や効果や目的、どういう手法で何をしてどういう効果を出すかの意見を求められているものだと思うが、大規模な予算の事業の中でイメージがしづらいため、まちづくり推進経費の2,000万円をどういう風に動かしていくかを検討いただければ効果的なまちづくりに繋がるのではないかと思う。

(丸山会長)

まちづくり方針の具体的な目標もできていないので、これからできる限りそこに近づける形で、何年後かのこのまちづくり推進経費にも、この事業の目的や目標はこの数字というようなことを増やしていけると良いと思う。そう簡単ではないと思うので、ぜひ、地域カルテの充実とカルテと連動したまちづくり推進事業を進めていただきたいと思う。

ここから8年間の中間である4年後位がそういった目標となる数字が出てくるように頑張っていければと思う。

(吉住区長)

貴重なご意見ありがとうございました。予算編成については、まちづくり方針に基づいて地域性を加味した上で行っていく。町内自治会等を含む地域の方々を中心としたまちづくりのサポートとして、まちづくり推進経費を活用していきたい。

また、北区では「外国人」と「こども」に特化したような形で予算編成を考えており、今後ブラッシュアップをしながらPDCAサイクルをまわしていき、より充実した形に変えていきたいと思う。

今後、地域活動の充実、拡充と予算編成については検討していきたいと思っている。

5 閉会

(事務局)

次の開催は2月頃を予定。